

## 【英語】

### ～ClassPad.net のファイルふせん・リンクふせんを活用する～

説得力のあるスピーチを考える授業（後半）

模擬的な Launch Event を通して、聞き手を説得できるスピーチをする力を養う。

#### 【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：英語を話すことに対する生徒の抵抗を減らし、楽しみながら説得力のある話し方を身に付けさせる。

生徒向けの目標：説得力のあるスピーチとはどのようなものかを考え、実践する。

#### 【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・生徒の理解促進 : リンクふせんを使って動画を再生・配布することで、授業テーマに対する深い理解を促す。
- ・協働学習促進 : 授業支援機能を利用して生徒間で作業内容を共有することで、グループワークを効率的に進めることができる。
- ・探究学習促進 : カメラふせんやテキストふせんなど多様な機能を利用し、クリエイティブな発表を考えることができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【授業の概要】  
・「**身近なアイテム**」についてプレゼンテーションをしよう！  
→ 最も良かったプレゼンテーションを、投票で決定します！  
※ 今回の授業では、いよいよ発表をしてもらいます！

#### 概要の説明

前回の授業で学んだ商品を売り出すためのスピーチのコツを手短に復習し、今回の授業では各班が発表をしたのちに最も良かった班に投票することを説明する。

step2

【発表のルール】  
・持ち時間：各班とも3分間  
→ 時間が来たら、その時点で打ち切る  
・2分以上は必ず話すこと  
→ 2分以内に終了した場合は失格  
・終了後、2分間の質疑応答時間を開ける  
→ 1班に対しては2班が質問、2班に対しては3班が質問……、7班に対しては1班が質問する。  
質問に答える側（発表者側）は、流暢でなくともよいので、その場で英語で答えること。

#### 発表についての確認

各班の発表の時間制限など、細かいルールについて再確認する。持ち時間は1班3分間で、時間になったら教員がその時点で打ち切る。2分間以上は必ず話すこと。その後2分間の質疑応答があり、ここでは1班の発表後は2班、2班の発表後は3班、というように次の班のメンバーから質問をする。なお、時間は2分間きっちり使うこと。聞く側は質問・投票ができるようにメモをとりながら聞くことと、話す側は質問をされたら流暢でなくてよいのでその場で英語で答えることを伝える。

発表の細かいルール等をテキストふせんにまとめておき、プロジェクトや電子黒板等で投影して説明する。

## step3

※発表用の資料例  
【5班 テーマ: 有線イヤホン】

- 私たち高校生にとって、日々の生活を向上させる上で大切なこと・意識すべきことは何か?

→ 経済的な面を延伸させない!  
→ 限られた時間で効果的に使う!  
→ 恋愛!

## 発表・質疑応答

step2で確認した手順どおりに発表・質疑応答を行う。50分授業の場合は時間がギリギリになるためテキパキと進行し、40分以内に全ての班の発表を終わらせる。

必要に応じて各班の資料を電子黒板等で投影する。テキストふせんやカメラふせん等を繋いでスライドショー形式にさせてもよい。

## step4

【投票】

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1班: torch (懐中電灯)            | 2  |
| 2班: pencil (鉛筆)             | 5  |
| 3班: banana (バナナ)            | 2  |
| 4班: chair (椅子)              | 7  |
| 5班: wired earphone (有線イヤホン) | 18 |
| 6班: randoseru (ランドセル)       |    |
| 7班: flip-flops (ビーチサンダル)    |    |

## 投票・講評

どの班のアイテムを最も買いたいと思ったかを各自に発表を聞きながら考えさせ、自分以外の班に投票してもらう。投票後、教員は最も得票数が多かった班を発表し、時間があれば各班について、時間がなければ全体について、講評を行う。

投票の方法は、教員のデジタルノートに「1班 torch」のように班の番号と売り出したアイテムを記載したテキストふせんを用意し、生徒たちが挙手した数を記録していくこととする。

## step5

【プレゼンテーションのポイント (まとめ)】

<具体的なポイント>

- STEP1: プレゼンの相手を知る  
→ 相手にとって何が大切で、その達成に製品が不可欠であると思われる
- STEP2: ビーローの旅を考え方 (3段階)  
①現状  
→ これまでの経験や既存する問題点 (=現状)  
から想起される  
②現状  
→ 既存の製品が対応できていない問題  
と引き (=自分のもの製品がその問題を解決すること) の導入  
③弱点を補強 (=対処法の提示)  
→ 自ら開示することで信頼を植え付ける

## まとめ

前回の授業で学んだ話し方のコツについて最後に再度触れ、実際に発表をしたり聞いたりしたことで学んだことを今後も生かしていくよう呼びかけて、授業を締めくくる。

step 2 で使ったテキストふせんを再度電子黒板等に投影する。

## step6

【リスニング・英語の講義を受けるときなどのコツ】

- 一言一句をメモしようといしない!
- スペルなどが不明であれば、日本語でメモするのも可!
- 細かな具体的な問題を聞き、要點のみをメモする!  
→ 複数の数値や順番などを問われる問題もあるので、場合による!
- 長い単語は記号に書き換えるなど、手早くメモできるよう工夫する!



## 参考・補足

リスニングの問題や英語の講義を受けるときなどに使える、聞きながらメモを取るときのコツを共有する。また、練習ができるよう簡単な動画と、その内容をまとめられるようなワークシートも生徒に送り、取り組みたい生徒に各自取り組ませるか、宿題として提出機能を用いて教員に提出させる。なお、英語の音声のみでは難しいかもしれないことと、メモの取り方を強調したいということを踏まえて、一度見た後は英語や日本語の字幕をつけてよいこととする（ただし、速度はそのままで通じて視聴させる）。

テキストふせんにまとめたリスニングのコツを授業支援機能で配布する。また、練習用の YouTube 動画「共通テスト英語リスニング・オリジナル予想問題 第4問 ⑤」(<https://www.youtube.com/watch?v=e3Lro58QEoY>)とワークシートをそれぞれリンクふせん・ファイルふせんで配布し、必要に応じて提出機能を使って生徒から教員にワークシートのファイルふせんを提出させる。